

# 本別町国民健康保険病院中長期計画

## 取り組み状況の点検・評価(平成28年度報告)

「健康長寿のまちづくり会議」平成29年10月

## II 本別町国民健康保険病院の目指す方向性

### 1. 計画策定期間(計画書5頁)

(1) 長期計画は、10年後の平成30年度の本別町国保病院が目指す方向性(目標)を次のとおりとする。

■平成30年度の本別町国民健康保険病院の目標

#### 【基本理念】

『おもいやりをもち、人にやさしくていねいな医療の実践により地域に愛される病院になろう』

#### 【平成30年度本別町国民健康保険病院の目標】

『町民、診療圏域住民が、「いつでも」「どこでも」「安心して」暮らせる地域社会を医療面から支える病院』

- ・ 一般病床60床を維持されている。
- ・ 周辺地域の基幹病院となっている。

#### 『十勝から小さくてもきらりと光る地域に根ざした医療を実践する病院』

- ・ 診療圏以外からの患者を受け入れる特徴ある医療機能・水準となっている。

#### 『まち全体がホスピタル、予防から医療・介護までが連係したサービスを提供する病院』

- ・ 患者・家族・地域が一体となって在宅医療が推進され、国保病院がその中核となっている。

(2) 中期計画は、平成21年度を起点に平成25年度までの5年間とする。

■上記、本別町国保病院の目標を達成するための、平成25年度までの今後5年間の中期計画を策定する。

■中期財政計画の基となる平成24年度から平成28年度までの建設設備計画を策定する。

■中期財政計画の基となる平成27年度から平成31年度までの建設設備計画を策定する。

(3) 中期財政計画は3年間とする。

■中期計画を基本に、平成23年度までの3年間の中期財政計画を策定する。

■平成24年度から平成26年度までの第2期中期財政計画を策定する。

■平成27年度から平成29年度までの第3期中期財政計画を策定する。

### 3. 医療需要の予測(計画書6頁)

患者数

(6) 近隣の国保病院で平成25年度より透析治療が計画されており、それらの状況を勘案しながら必要により医療需要予測を検討する。

【入院】

(単位：人)

	平成27年度 (計画)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (計画)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (計画)	平成29年度 (実績)
年延入院患者数	19,398	16,612	19,345	14,997	19,345	
1日平均患者数	53	45	53	41	53	

	平成 27 年度 (計画)	平成 27 年度 (実績)	平成 28 年度 (計画)	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 (計画)	平成 29 年度 (実績)
年延外来患者数	53,460	<b>51,048</b>	56,120	<b>47,114</b>	56,120	
1日平均患者数	220	<b>210</b>	230	<b>194</b>	230	

#### 4. 本別町国保病院の中期計画（施策の展開）（計画書6頁～）

##### (1) 診療体制

###### ① 基礎診療科

- ・ 内科、外科の2科を基礎診療科と位置づける。
- ・ 内科医師は複数名配置し、総合医、循環器系、消化器系、呼吸器系などの医師を確保する。消化器系は外科との関係を図りながら、予定手術等に対応できる体制とする。

⇒平成29年2月1日内科医師1名採用

**28年度末内科医師3名体制となる。(呼吸器1名、消化器1名、総合診療1名)**

- ・ 外科医師は複数名配置し、消化器系疾患の手術等に対応できるレベルを維持する。  
⇒外科医師体制は変更なし。(常勤医師1名、非常勤医師1名/週2コマ)

###### ② 1.5次医療として担うもの

- ・ 耳鼻咽喉科の常勤体制を維持し、手術対応、入院による治療も積極的に行える体制とする。  
⇒平成18年7月から常勤医師を確保し、外来のみではなく、手術・入院治療も実施。
- ・ 眼科は、糖尿病など生活習慣病に起因する疾患を早期発見・治療することにより、生活習慣病の予防につなげることが期待される。現在の週1回半日診療を増枠するなどの拡充を図り、町民のニーズに応じていく必要がある。  
⇒平成26年4月より週1回に加え月2回の診療枠の拡充が図られたが、月2回の拡充は平成28年3月で終了。
- ・ 小児科は、少子化時代になくってはならない分野であるが、現状は小児科医師のなり手がいないこと、また、不採算部門であり常勤医師を確保することは難しいことから、現状の毎週1日の診療枠の拡大について検討する。具体的には、現在月2回の乳幼児健診以外の、残りの月2回を国保病院での午後半日診療枠の拡充を要請する。  
⇒平成26年10月から月2回に縮小。
- ・ **皮膚科、整形外科**は、町民アンケートでもニーズが高い診療科であり、今後の病院運営状況も見据えながら検討を進める。  
⇒整形外科は、平成21年9月から帯広協会病院の派遣を受け毎週1回の外来診療を開設していたが、協会病院からの派遣が困難な状況になり、平成27年は帯広市内の医師により週1回の外来診療を実施。  
⇒**皮膚科外来は平成28年7月から月2回診療開始。**
- ・ **泌尿器科外来**は、平成21年10月から帯広市内の医師により月2回の外来診療を開設し、平成27年12月で終了したが、**平成29年3月から再開した。**
- ・ 脳神経外科は、平成25年5月から帯広北斗病院医師による月1回の外来診療を開始した。
- ・ 精神科は、安定期にある患者の治療・処置について当院サテライトを受診することから、周辺地域の患者利便性に効果が現れている。また、今後増加が予想される認知症高齢者の確定診断に協力をいただき、「ものわすれ外来」との関係が保たれている。

## (2) 建設設備計画

## 【3期建設設備計画】

(単位：千円)

	医療機器等	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	合計
放射線室	MR I	77,902					77,902
	骨密度測定装置	4,224					4,224
	画像サーバー		19,980				19,980
	一般撮影装置 (2台)			17,064			17,064
	画像読取装置				30,000		30,000
検査室	超音波画像診断装置	6,974					6,974
	臨床検査システム		7,344				7,344
	全自動生化学分析装置				2,800		2,800
	全自動血液凝固測定装置					4,104	4,104
その他	オーダーリングシステム		80,000				80,000
	スリットランプ		3,782				3,782
	電話交換機 (一式)			18,398			18,398
	逆浸透水製造システム			10,000			10,000
	空調中央監視装置			9,280			9,280
	財務会計システム			4,185			4,185
	人工呼吸器			2,000			2,000
合計		89,100	111,106	60,927	32,800	4,104	298,037

## 実績【3期建設設備計画】

(単位：千円)

	医療機器等	平成 27 年度 (実績)	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 (実績)	平成 30 年度	平成 31 年度	備考
放射線室	MR I	62,134					
	骨密度測定装置	4,224					
	画像サーバー		14,143				
検査室	超音波画像診断装置	6,974					
その他	逆浸透水製造システム		11,178				
	スリットランプ		3,051				
合計		73,332	28,372				

※2,000千円以上を記載

## 5. 事業運営の取り組み（計画書9頁）

### (1) 収益増加への取り組み

#### ① 入院基本料

13対1の維持、10対1も視野に入れる。

⇒平成21年6月から13：1区分を選択。

#### ② 入院病床稼働率のアップ

病床利用率	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
計画	—	88.0	88.0	88.0
<b>実績</b>	78.3	75.6	68.5	

#### ③ 診療単価アップ

診療報酬単価	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
<b>入院（実績）</b>	25,201	24,290	25,865	
<b>外来（実績）</b>	6,662	6,854	7,005	

#### ④ 平均在院日数の短縮

平均在院日数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
<b>実績（年度末）</b>	23.8	22.1	23.8	

#### ⑤ 病診連携

平成24年10月から町内診療所の循環器医師との連携により、ペースメーカー移植術やカテーテル治療の専門領域検査・治療の充実及び収益増を図っている。

### (2) 経営基盤の強化及び経営効率化への取り組み

#### 電子化の取り組み

⇒平成21年12月にオーダーリングシステム導入

### (3) 人材確保・育成への取り組み

#### ① 医師確保対策

⇒平成27年6月、内科医師1名採用及び退職。28年3月内科医師1名採用及び退職。**29年2月内科医師1名採用。常勤医師は5名体制となる。**

#### ② 看護師確保対策

・ 看護学校などの訪問、合同面接会への参加、定期的な募集広告の掲載などを進める。

⇒帯広高等看護学院への訪問、合同面接会への参加及び北海道看護協会、インターネット募集サイトへの登録などを行っている。**短期派遣看護師の活用。**

## 6. 中期財政収支計画（計画書12頁）

(1) 収益的収支及び資本的収支

(単位：千円)

		26年度 (決算)	27年度 (計画)	27年度 (決算)	28年度 (計画)	28年度 (決算)	29年度 (計画)	29年度 (決算)
収益的 収支	医業収益	1,011,100	1,035,913	971,456	1,063,797	936,184	1,063,797	
	うち料金収入	786,920	838,259	753,366	856,143	717,939	856,143	
	うち他会計負担金	180,348	147,977	177,506	157,977	178,400	157,977	
	医業外収益	230,625	184,130	186,733	179,706	221,531	184,356	
	うち他会計負担金	187,988	142,023	142,494	142,023	180,143	142,023	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	病院事業収益合計	1,241,725	1,220,043	1,158,189	1,243,503	1,157,715	1,248,153	
	医業費用	1,289,179	1,294,707	1,199,813	1,253,519	1,153,883	1,268,913	
	うち職員給与費	659,497	664,433	617,372	673,595	626,553	673,438	
	うち材料費	147,486	169,890	140,941	173,150	146,458	173,150	
	● うち減価償却費	135,678	130,573	132,019	76,227	72,805	91,027	
	医業外費用	56,630	27,871	55,636	26,421	52,069	25,127	
	うち支払利息	22,480	21,318	21,094	19,868	19,761	18,574	
その他	42,586	0	0	0	0	0		
病院事業費用合計	1,388,395	1,322,578	1,255,450	1,279,940	1,205,952	1,294,040		
純損益	-146,670	-102,535	-97,261	-36,437	-48,237	-45,887		
未処分利益剰余金変動額	251,856	—	—	—	—	—		
累積欠損金	1,642,421	1,744,956	1,739,682	1,781,393	1,787,919	1,827,280		

(単位：千円)

		26年度 (決算)	27年度 (計画)	27年度 (決算)	28年度 (計画)	28年度 (決算)	29年度 (計画)	29年度 (決算)
資本的 収支	企業債	5,300	45,900	37,500	35,600	13,700	28,000	
	他会計負担金等	62,425	98,797	89,420	75,223	69,814	73,415	
	国・道補助金等	3,867	4,050	4,050	42,700	1,525	6,480	
	その他	2,201	760	121	1	250	1	
	収入計	73,793	149,507	131,091	153,524	85,289	107,896	
	建設改良費	16,520	96,371	79,847	113,843	32,335	62,534	
	企業債償還金等	85,166	77,800	77,800	79,703	79,706	91,176	
	その他	2,201	1	121	1	250	1	
	支出計	103,887	174,172	157,768	193,547	112,291	153,711	
	差引不足額	30,094	24,665	26,677	40,023	27,002	45,815	

(2) 企業債残高

(単位：千円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画		1,062,729	1,018,627	955,450	888,121	805,615
実績	1,094,629	1,054,329	988,324			

## 7. 定員管理（計画書13頁）

平成20年度、医師、看護師、技師等の増加により病院機能充実を図るため、職員定数68名を74名とした。

### 【正職員】

#### (1) 医師

常勤医師は、内科医師4人、外科医師2人、耳鼻咽喉科医師1人の7人体制を基本とし、今後の患者数の状況や医療ニーズなど必要により見直しを行う。

⇒平成29年4月現在の医師標準定数は5,156,25人で、現員数は、常勤医師5人、非常勤医師1,891,85人、計6,891,85人で充足率148.5%。

#### (3) その他技術職

臨床工学技師については、透析患者数の状況により必要により見直しを行う。

部門別	適正化計画（各年4月1日の職員数）人							28年度比増減
	27年度 (実績)	27年度 (計画)	28年4月 (実績)	28年度 (計画)	29年4月 (実績)	29年度 (計画)	30年4月 (実績)	
医師	4	5	4	5	5	5		1
看護室	35	36	37	36	37	36		
医療技術	13	13	13	13	14	13		1
給食	1	1	1	1	1	1		
事務	5	5	5	5	5	5		
合計	58	60	60	60	62	60		2

### 【非常勤職員】

#### (1) 給食調理部門の委託化

給食部門の委託化については、職員の人事異動で一定の人件費の削減が図られたこと、また経費削減のためには給食材料費の購入費も含め委託する事により効果が見込めるが、町内業者への影響などを考慮し、当面は直営とする。

部門別	適正化計画（各年4月1日の職員数）人							28年度 比増減
	27年度 (実績)	27年度 (計画)	28年4月 (実績)	28年度 (計画)	29年4月 (実績)	29年度 (計画)	30年4月 (実績)	
医師	(内.眼.小. 整.泌.脳) 6	6	(Δ泌) 5	6	(泌.皮) 7	6		2
看護室	5	5	4	5	4	5		
医療技術補助	2	2	2	2	2	2		
給食	13	12	11	12	13	12		2
事務	6	6	6	6	5	6		Δ1
病棟看護補助	11	12	12	12	9	12		Δ3
外来看護補助	7	7	6	7	7	7		1
合計	50	50	46	50	47	50		1

## 9. 中期経営主要指標（計画書15頁）

（単位：％）

	26年度 （実績）	27年度 （計画）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	28年度 （実績）	29年度 （計画）	29年度 （実績）
医業収支比率	78.4	80.0	81.0	84.9	81.1	83.8	
経常収支比率	92.3	92.2	92.3	97.2	96.0	96.5	
総収支比率	89.4	92.2	92.3	97.2	96.0	96.5	
医業収益対職員給与比率	62.3	61.1	61.4	60.3	65.2	60.2	
材料費対医業収益比率	13.3	16.4	13.2	16.3	14.4	16.3	
（うち薬品対医業収益比率）	7.0	7.8	6.6	7.7	7.1	7.7	
病床利用率（一般病床）	78.3	88.3	75.6	88.3	68.5	88.3	

※ 医業収支比率＝ 医業収益/医業費用（本来の業務により発生した収益と、これに要した費用の割合。高いほど収益性は良い。）

※ 経常収支比率＝ 医業収益＋医業外収益/医業費用＋医業外費用（経常的な収支の比率。100%未満の場合は経常損失が発生している。）

※ 総収支比率＝ 総収益/総費用（100%を超えた場合は、損益計算上利益が生じ、下回ると欠損が生じる。）

※ 医業収益対職員給与比率＝ 職員給与費/医業収益（医業収益に対する職員給与費の割合）

## III 再編ネットワーク化(計画書15頁)

北海道が主導して設置された「自治体病院広域化・連携検討会議」での議論の動向を踏まえ、平成26年度末までに再編・ネットワーク化について検討していく。

⇒平成24年度は広域化連携検討会議が1回開催された。

⇒平成25年度以降は開催されていない

## IV 経営形態の見直し(計画書16頁)

平成26年度末までに検討していく。

⇒再編ネットワーク化と並行して検討していく必要から現在議論をしていない。

## V 目標達成状況の評価等(計画書17頁)

### (1) 点検・評価方法

① 既存の「健康長寿のまちづくり会議」（平成13年設置、条例委員、委員数24名）に、年1回計画の取り組み状況の点検・評価を実施

② 年度ごとの計画目標値と、実績値の比較により、評価時点での達成度を検証し、毎年度計画目標のローリングを図っていくこととし、必要により見直しを行う

⇒3年毎に見直しを行う第3期中期財政計画（平成27年度～平成29年度）を策定。

平成27年2月「健康長寿のまちづくり会議」の具申を受けた。

### (2) 公表時期

平成20年度の計画策定時に公表する。目標達成状況は毎年度末の状況を毎年度報告する。

⇒平成27年9月、平成28年8月、取り組み状況の報告

### (3) 公表方法

本別町国保病院ホームページにより公表する。

⇒本別町国保病院ホームページ上に公表している。<http://www.honbetsu-kokuho-hp.jp/>